

宮私幼だより

No. 135
 社団法人 宮城県私立幼稚園連合会
 〒980-0803
 仙台市青葉区国分町三丁目6-12
 佐正第二ビル6F
 TEL 022-263-7040 FAX 263-7925
 http://www.miyashiyo.or.jp/
 編集・発行人
 理事長 村山 十五



- 関係機関団体
 - 9月12日 第1回福島原発事故対策みやぎ県民会議(県庁)
 - 9月20日 第20回仙私幼教育振興大会・第51回仙私幼PTA連合会
研修大会(仙台国際センター)
 - 10月6日 ねんりんびつく宮城第1回式典演技部会(宮城県自治会館)
 - 10月13日 宮私幼教育振興大会・第40回宮私幼PTA研修大会(仙台市民会館)
 - 10月17日 第34回宮城県私学振興大会(中高連・電力ホール)
 - 12月17日 免許状更新講習(第4回・選択)(戦災復興記念館)
 - 12月20日 第2回福島原発事故対策みやぎ県民会議(県庁)
 - 1月6日 仙私幼教員研修大会(市民会館)
 - 1月16日 学ふ土台づくり推進連絡会議設立準備会(県庁)
 - 1月30日 私立学校授業料等軽減特別事業補助金交付要綱説明会(エルパーク仙台)
 - 2月1日 宮城県次世代育成支援対策地域協議会(県庁)
 - 2月8日 ねんりんびつく宮城 第2回式典演技部会(宮城県自治会館)
 - 2月20日 福島原発事故対策みやぎ県民会議 損害賠償請求研修会(パレス宮城野)
 - 3月28日 免許状更新講習(第5回・選択)(仙台市民会館)
- 全日私幼連
 - 9月15日 16日 全日私幼連被災幼稚園視察(気仙沼・石巻・山元地区)
 - 9月22日 102条園研究会議(東京)
 - 9月26日 団体会長会議(東京)
 - 9月26日 第4回都道府県政策担当者会議(東京)
 - 10月21日 東北地区会教育研究・経営研究・政策総務担当者連絡協議会(秋田市)
 - 10月24日 第27回設置者・園長全国研修大会(熊本市)
 - 12月1日 第26回全日私幼PTA連合会全国大会(東京)
 - 12月19日 第26回全日私幼PTA連合会全国大会(東京)
 - 12月19日 理事会
 - 12月24日 幼児教育研究機構東日本大震災調査研究会(仙台ガーデンプアレス)
 - 1月26日 全国研究研修担当者会議(京都)
 - 1月31日 団体会長・理事会合同会議(東京)

事務局
 だより



平成23年度第2回宮私幼通常総会

平成24年3月9日(金) 13:30～ 仙台市戦災復興記念館(5階会議室)

去る3月9日に平成23年度第2回宮城県私立幼稚園連合会通常総会が開催されましたので、紙面にてご紹介させていただきます。

総会開催に当たり、冒頭出席全会員により東日本大震災で被災し亡くなられた園児・教職員・関係者に黙とうが捧げられました。

総会では、まずはじめに村山宮私幼理事長の挨拶がありました。お話では、中央政府にて検討されている『子ども子育て支援新システム』について、



全国の幼稚園での反応は様々であるが、大きく分けると賛成・反対が半々という状況であるということ。全

日本私立幼稚園連合会としては、その中で議論されている幼稚園業界への株式会社の参入だけは断固反対の意思表示をしているので、宮私幼会員の皆様にもご理解をいただきたい。特に株式会社の参入は、待機児童解消や母親の就労環境確保のために施設だけが先行してしまい、親子の絆やふれあいの希薄な環境を招き、子どもの教育がどうあるべきか議論されないということも懸念されており、我々としては今後の議論の行方を注視していく必要があるというお話をいただきました。

続いて、ご来賓宮城県総務部杉内副参事よりご祝辞として、宮城県は県内幼稚園関係者により東日本大震災での被災園児の確認からお見舞い、心のケアがスムーズに行われたことに対して、感謝の意を表している旨、お話がありました。とりわけ、在籍園児の安否確認や幼稚園の再開については、県と連携をとりながら円滑に進めていただき、教育環境の復旧に貢献していただけて、心強かった

とのお話を頂戴しました。

また、渥美巖宮私幼PTA会長からのご祝辞では、東日本大震災の被害からの復旧がままならない幼稚園も未だ多数あることからこれから、益々県内の私立幼稚園に対する公的助成が得られるように声を大にして活動していきたいとの力強いお話をいただきました。

その後、定足数の確認に移り、正会員185名のうち99名出席に44名の委任状出席をプラスして、143名の確保が出来、本総会が成立することを確認しました。議長選出では、ひかり幼稚園の風間先生と旭ヶ丘幼稚園の早坂先生が選出されました。また議事録署名人の選任では、福聚幼稚園の関先生と松ヶ浜幼稚園の加藤先生が選任され、議事に入りました。

議事では、第一号議案：平成23年度一般会計収支補正予算(案)及び退職手当資金給付事業特別会計収支補正予算(案)並びに受託事業予算(案)について、第二号議案：平成24年度事業計画(案)について、第三号議案：平成24年度一般会計収支予算(案)及び退職手当資金給付事業特別会計収支予算(案)について、審議し、すべて賛成多数で承認されました。

その後、東日本大震災義援金の状況につき、吉岡理事より報告がなされ、最後に平成25年度の園児募集の日程として、10月1日願書配布スタート、11月1日願書受付スタートを確認しました。

以上をもち、すべての議案を審議承認し、総会の一切が閉会となりました。



平成23年度第2回宮私幼設置者・園長研修会

テーマ「震災当日の園児の避難誘導について」

講師：石巻みづほ・石巻みづほ第二幼稚園園長 津田 廣明 氏

平成24年3月9日(金) 11:00～12:00 仙台市戦災復興記念館(5階会議室)

総会に先立ち、標記の研修会が開催されました。

講師の津田廣明先生におかれましては、東日本大震災に多くの園児達を危機一髪で救助した経験とそこから得られた貴重な教訓について、スライドを交えながらのご講話をいただきました。園にとって最も重要な園児の避難誘導について、具体的にお話しいただき、参加者一同に改めて子供た

ちの掛け替えのない命を守る覚悟を痛感させられました。



幼 女 子 と と き に

幼稚園訪問記・浄心幼稚園



〒989-1605 柴田郡柴田町船岡南1丁目1-7
園児数182名 6クラス
(年少35名、年中81名、年長66名)
平成24年5月1日現在

今回は、創立が昭和4年に遡る曹洞宗大光寺境内に設置の「浄心隣保館」を母体とし、昭和39年4月に認可された浄心幼稚園にお邪魔しました。戦前託児所施設のない時代に隣保館は農村では必要不可欠のものでした。

当日は卒園式総練習にもかかわらず三宅泰信園長先生にお話しをお伺いしました。園長先生は平成19年に就任された将来を嘱望される若い経営者でもあります。また、檀務お忙しいところ、平成22年の秋に瑞宝双光章を受賞された三宅光信理事長先生にもインタビューをさせていただきました。



園長 三宅泰信先生

当園では敷地内にある丘陵を利用した滑り台等の遊具が充実し、数年前にお訪ねしたときには園児が嬉々として遊んでおりましたが、東京電力福島第一原子力発電所の事故の影響で、園児の屋外での活動が30分以内に限定しているという話しをお聞きし心が痛みました。

浄心幼稚園では

- 保育時間
8:30~9:30 登園・自由遊び
9:30~14:00
- 預かり保育
保育終了~17:30
- 給食
牛乳のみで、お母さんの手作りのお弁当
- 特色教育
・ 仏教保育
・ 身心の健全な発育のために、坐禅会、体育教室等
・ 保護者との緊密なつながり
- 未就園児教室
翌年度願書受付以降
- 通園バス運行

<仏教保育とは?>

三つの仏教保育綱領に従って保育しております。
慈心不殺…生命尊重の保育
を行おう



ぶつどうじょうじゆ
仏道成就…正しきを見て、絶えず進む保育を行おう
しょうこうじょうじゆ
正業精進…よき社会人をつくる保育を行おう

それに毎月の徳目があり、週一回の合同礼拝で園児達に分かりやすく伝えることを心がけています。毎日の礼拝、4月8日降誕会(釈迦誕生)、12月8日成道会(釈迦お悟りの日)、2月15日涅槃会(釈迦入滅の日)の三仏忌の行事、坐禅会も行っています。春休みの為、降誕会については、ひと月遅れで行っています。

<特に力の入れている教育等がありましたらお聞かせください>

先ほどお話した仏教保育に加え、教育目標として、「だれとでも仲よくあそべるこども」、「けじめを はっきりとつけられるこども」、「話を最後まで きちんときけるこども」を掲(かか)げて日々保育を行っています。また、園児の健康保持と体力増進に力を入れ、週一回、カワイ体育教室の先生の指導のもと、前転・後転・跳び箱・プール遊び、サッカーなど楽しくやっており、1年間の集大成として保護者も交えての発表会を「大河原町はねっこアリーナ」の大きな体育館で開催しています。年長になると一学期に一回と回数は少ないのですが、習字と言うより筆とスミで紙に書きマーカーなどとは違う感触を味わってもらいます。保護者からの希望で始まった坐禅体験や書道(写経・写仏)も、参加者は数名ですが続けております。

土地柄でしょうか、都市部で見られる激しい競争のための給食を実施していないし、未就園児教室も願書受付以降に幼稚園になれてもらうために親子で参加すると言うものでした。(記者TK)



平成23年度宮私幼教育研究発表大会

大会テーマ：「育もう心と体 示そうみちを」

平成24年3月28日（水）仙台市民会館 参加者886名



平成24年3月28日（水）、仙台市民会館に於いて平成23年度宮城県私立幼稚園連合会教育研究発表大会が開催されました。この教育研究発表大会は例年この時期に行われているものですが、昨年は東日本大震災の直後ということもあり中止を余儀なくされ、今年は2年ぶりの開催ということになりました。

予定通り9時45分には宮城県私立幼稚園連合会鎌田文恵副理事長による開会のことばをもって第1部の開会行事が始まり、幼稚園賛歌斉唱、宮城県私立幼稚園連合会村山十五理事長の挨拶と進んでいきました。続いて教員表彰が行われ、永年勤続表彰では、しげる幼稚園渡辺まり子教諭、優秀教員表彰では聖和幼稚園大友まゆみ教諭が代表として壇上に上り表彰状をお受け取りになりました。



来賓祝辞では村井嘉浩知事代理として、宮城県総務部副参事杉本弘之様、さらに宮城県議会議長中村功様、宮城県私立幼稚園PTA連合会会長渥美巖様からそれぞれご祝辞を頂戴しました。

定刻通り10時40分から第2部の講演会が始まりました。「育もう心と体 示そうみちを」という今年度の大会テーマのもと、宮城県私立幼稚園連合会は研究委員を中心に、幼稚園で教育に携わる私たちが幼児をどのように導くのか、その方向性を見出せるような学びのときを持つことを第一に考え企画を進めてきました。しげる幼稚園小野寺靖子研究委員から、今回の講師を務めてくださる東北大学大学院医学系研究科大隈典子教授が紹介されました。大隈教授は発生発達神経科学がご専門で、脳に関する研究を手がけておられます。そのような立場から今回『幼児期における科学の芽生え』と題して講演をしていただくことになりました。

講演は大隈教授のご専門の脳のお話から始まり、脳の構造からその発生、発達についてということに進んでいきました。脳の中で情報伝達を担う神経細胞は、日々新しく作られていくもので、そのように細胞が新しく作られるということはわたしたちが学習するということにも大きく影響していて、環境に適応し、より複雑な技術を学ぶことにも大きく関わっているのだそうです。私たちが

多様な学びを行えるのも、新しい細胞が作り続けられているおかげと言えるそうです。

そのような脳の活動のおかげで、人間には他の生物にはない能力が備わっています。そしてその能力は社会性をもつということにつながっていきます。母親と幼児の関係を例にとると、たとえば犬がいるのを見て母親が指をさして「わんわん」といったとします。そうすると幼児は自分でも指をさして母親の注意を向けようとします。この指をさすという行為は社会性の発達の最初の段階と考えられています。そこから幼児は自分でも言葉を使って表現しようとします。そのような自分と物との二項関係から始まって、コミュニケーション能力が発達していき、自分と他者と物という三項関係が成立するようになっていきます。そのようにして人間は他者との共同作業ができるようになり、社会性は創造性に関わってきます。



お話はそこからさらに「科学するところ」ということに移っていきました。科学するということに関して大隈教授はまず、対象をよく見るということが大事だと指摘されます。その次は抽象的に考える（たとえば数を使って考える）ことが重要だそうです。思考は更に論理性を身につける段階に進み、そこから独創的な思考の段階へと進んでいきます。想像力と創造力を身につけることが求められていきます。こういった活動にも脳の神経細胞が関わってきます。

結論として、科学の芽を育むために、学びの段階があるということをお話されました。大隈教授は指摘しておられます。段階を踏んで積み重ねて学ぶ、記憶を定着させるためには「褒める」ことが重要で、その上に科学する芽が成り立つと大隈教授はおっしゃっておられます。睡眠を十分にとる、栄養をしっかりとするという基本的な習慣の上に、「協同注視」一緒に見て気づきを促すことが大事と話されました。

午後からは第3部の研究発表が行われ、「いのちを学ぶ保育」というテーマで大野田幼稚園庄司優子教諭、「学びの連続性」というテーマで築館聖マリア幼稚園及川知美教諭、「望ましい幼児のあそびと生活」というテーマで旭ヶ丘幼稚園高井愛子教諭がそれぞれ質の高い発表をされ、すべての予定を終えました。



✦ 宮城県知事・議会議長へ陳情 ✦

平成24年度の予算が組まれようとしている1月6日に、宮私幼PTA連合会役員、宮私幼振興対策協議会、宮私幼常任理事の計21名が村井嘉浩知事に陳情に行ってきました。「平成24年度私立幼稚園に対する補助金等に関する陳情書」の内容は、例年の要望に福島原発事故による放射線量に係わる補助制度の創設が加えられました。

その要旨は、

- 1、各幼稚園に対する運営費補助金は、今後とも国が示す額まで増額していただきたい。
- 2、宮城県私立幼稚園連合会の退職手当金給付事業に係わる補助金を、せめて私立高校並みの設置者掛け金の2分の1相当額（1,000分の36）まで引き上げていただきたい。
- 3、放射線量の低減化事業に対する補助制度の創設をお願いしたい。

の要望を行いました。

陳情には宮私幼PTA会長宮城県議会議員渥美巖氏、宮私幼PTA副会長宮城県議会議員中島源陽氏にも同行していただき、お母さん代表として塩釜聖光幼稚園の櫻井多恵子さん、鶴が丘幼稚園の桐原恵美さんとちびっこの応援を得ての和やか



な陳情となりました。

冒頭、村山十五宮私幼理事長が、私立幼稚園への震災復旧の県の支援に対して謝意を表し、陳情について説明し、続いて渥美PTA会長もその趣旨を強く訴えました。それに対し、知事は1、2に対して財源不足の中、何とか努力しているとお答えをいただき、3については福島県のみならず隣県も考慮して欲しいと国に要望しているのご返答をいただきました。また、被災園の鳴瀬幼稚園園長丁子婦貴子先生から被害状況を説明し、最後に全員そろっての記念写真となりました。その後、県議会議長中村功氏を訪ね同様の要望を行いました。議長は陳情の趣旨に誠実に答えたいとお返事をいただきました。

◆文部科学大臣表彰・宮城県知事表彰・宮城県教育委員長表彰受賞祝賀会

昨年秋に利府幼稚園園長の小野和子先生が文部科学大臣表彰、鳴瀬幼稚園園長の丁子婦貴子先生が宮城県知事表彰、小さき花幼稚園園長の京けい子先生が宮城県教育委員長表彰を受賞されました。

12月13日にホテルJALシティ仙台において先生方の祝賀会が開催されました。

多年に亘る幼児教育のためにご尽力いただいた先生方へのお祝いの言葉が寄せられ、受賞された先生方からもそれぞれの歩んでこられた幼児教育についてお話いただきました。乾杯の後、和やかな雰囲気の中に祝宴が執り行われました。

✦ 編集後記 ✦

135号も発行が大変遅れてしまい、申し訳ありません。ご執筆いただいた先生方、浄心幼稚園様には大変ご迷惑をおかけしました。次号からは、通常通りの発行を目指して参ります。

◆受賞最新ニュース

- 東日本大震災における貢献者表彰（公益財団法人社会貢献支援財団）

法山寺幼稚園理事長 北村泰秀先生と石巻みづほ幼稚園・石巻みづほ第二幼稚園園長津田廣明先生が本年5月1日に東京帝国ホテルにおいて上記の表彰を受賞されました。

- 平成24年春の叙勲

東仙台幼稚園園長清野幸雄先生が春の叙勲で瑞宝双光章を受賞されました。

【表紙によせて】

浄心幼稚園での保育の様子

村山理事長も書いておられましたが、私達私立幼稚園が大変危惧しておりました民主党の「総合こども園」構想が自民党などの修正合議で撤回されることになりました。とりあえず、最悪の事態はさけられました。